

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no

4

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

峡中地区・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

● 平成29年度 地域教育フォーラムを開催しました。

10月24日(火)、甲斐市の双葉ふれあい文化館において、峡中地区・峡北地区合同地域教育フォーラムが開催されました。台風の影響が心配されましたが当日は天候にも恵まれ、約350名の参加がありました。主催者を代表して、峡北地区の堀内正基会長(北杜市教育長)が挨拶したあと、講演が行われました。以下は講演の概要です。



すべての子どもを守るために —子どもの権利を守るための法制度— 永野・山下弁護士事務所 弁護士 山下敏雅 先生

◎講師紹介 2003年に弁護士登録をし、今、15年目。豊島区の「東京パブリック法律事務所」に勤務していた。「公設事務所」といって、区民の駆け込み寺としてどんな事件でも相談に乗るといって、弁護士会が支援して作った事務所である。ここに子どもの事件担当として4年間勤務し、その勤務が開けたあと独立。扱っているのは一般民事、特に家事事件が多いがメインは子どもの事案。東京都の児童福祉審議会の委員を務め、LGBTなど、子どもの心の問題に関する支援などもしている。

◎「子どもシェルター」の始まり

東京弁護士会子どもの権利委員会では、子どもたちと一緒に劇を上演している。始まって9年目に、虐待から逃げてきて今泊まる場所がない、帰る場所がないという子どものための緊急一時避難施設「シェルター」があったらいいよね、という架空の設定で上演した。虐待から逃げてきて帰る場所がない子どもは、基本的には児童相談所が一時保護をする。児童相談所の中の一時保護所というところで匿うのだが、児童虐待の対応件数が急増しているので、どこも人数的にパンク状態となっている。従って、命の危険がある場合や乳幼児の場合が優先され、10代の子どもは、親と仲直りして帰りなさいという対応がほとんどになる。もう一つの問題は、児童福祉法が17歳までしか適用対象にしていないから、18、19歳は未成年なのに児童相談所は保護できないということ。これに対して、弁護士は自腹でお金を出してホテルに泊まらせたり、自宅に泊めたりという例もあった。しかし、これは大変危険なことで、保護者から誘拐だと言われてしまうおそれがある。それで、そういうことにならない安全な場所があったらいいよねという架空の設定で上演をしたところ、この施設が実在すると勘違いした人達から、今すぐ入れたいという連絡が殺到した。それで、無いなら作ろうということになり、上演した2年後の2004年、東京に日本初のシェルター「カリヨン子どもセンター」ができた。シェルターなので場所は秘密、入るか入らないかは



福祉への理解と関心を深める

玉穂中学校では、2年生が「総合的な学習の時間」で『福祉学習』を行っています。高齢者や障がい者に関わり合うことで、福祉への理解と関心を持ち、思いやりの心を育むことを目的としています。

9月28日(木)には、中央市社会福祉協議会の協力で「高齢者疑似体験」を実施しました。動きにくくするために体に装具を付け、ゴーグルやイヤホンで、見たり聞いたりしにくくします。祖父母と同居している生徒は、「おじいちゃん、おばあちゃんが大変な思いで生活をしているのに、いつも笑顔で接してくれていることがとてもありがたいと思った」と感想を言っていました。

10月3日(火)は、障がいを持つ方をお招きした「福祉講話」を実施し、障がい者への理解を深め、「共に生きる」ことについて考えました。お話は、日常生活での苦勞や心ない一言で傷ついたことなどの体験談、また、家族愛や



心を育てる「読み聞かせ」

韮崎東中学校では、4年前から朝の「慈愛の時間」を使って、想像力を育み言語能力を高め人間関係を豊かにすることを目的に「読み聞かせ」を行っています。

10月16日(月)、市内の小中学校で「読み聞かせ」の活動をしている「朗読・表現韮崎さざなみ会」「ひびき会」「こぶしの会」が同校を訪問しました。14名の朗読者が各教室で朗読をすると、身を乗り出し聞き入っている生徒や目を閉じて想像力を働かせている生徒もいて、とても充実したひとときでした。生徒の感想でも、「朗読の声がとても聞きやすい」「読書が好きになった」「本の



続きが読みたい」など好印象だったそうです。

読書の楽しみを広げるとともに、生徒の「こころ」を育てるため、今後も「読み聞かせ」を続けていくそうです。

甲府工業高等学校 創立100周年

10月21日(土)、甲府工業高等学校創立100周年記念式典が、後藤齋知事をはじめ多くの来賓を迎えて行われました。手塚幸樹校長が、伝統を大切にしつつ、これからも山梨に貢献できる人材育成に力を尽くしていきたいと式辞を述べ、100周年記念事業協賛会から「五葉世紀館(100周年記念館)」やマイクロバス他が学校へ贈られました。

同校は「質実剛健」を校訓に、「技術者となる前に人間となれ」を信条として、人間性豊かな工業技術者の育成に取り組んでいます。式典の後には、国立極地研究所

名誉教授で同校OBでもある鮎川勝氏の記念講演がありました。観測隊のメンバーとして何度も南極に行かれた経験を紹介し、地球環境を守る上で南極が重要なモニタリングスポットであることや南極地域の環境を守ることの必要性などを話してくださいました。また、高校の3年間で自分の気持ちを奮い立たせる根源になっているとおっしゃっていました。



「科学きらきら祭り in 韮高」

10月1日(日)、「科学きらきら祭りin韮高」が行われました。地域の子どもたちを招き、実験や工作を通して科学を身近に楽しんでもらうイベントです。韮崎市、北杜市から小学生約170名、保護者約120名が参加しました。

16の講座が用意され、説明や実演にはSSH登録生の1、2年生約80名があたりました。丁寧でわかりやすい対

応に、子どもたちも喜んで活動していました。韮崎高校のSSHは、今年度の全国総文祭自然科学部門での文部科学大臣表彰を含めて多くの受賞研究があります。参加した子供たちの中から後へ続く「研究者」が生まれるといいですね。



第15回フェスタ杜のきらめき

北杜高校は、10月7日(土)に収穫祭「フェスタ杜のきらめき」を行いました。この行事は、北杜高校の農場でとれた農産物の販売だけでなく、総合学科各系列のイベントや文化部の展示・発表、PTA主催のバザーや地元授産施設による販売など盛りだくさんの内容となっています。

やはり、一番人気は農産物の販売で、販売開始の前から長い行列ができ、品物によっては30分で完売になってしまうものも。アイスクリームも大人気で、1人で10個以上も買っていくお客さんが大勢いました。また来場者には豚汁とつきたてのお餅(学校の田んぼでとれた餅米を使用)も無料で配られ、実りの秋を満喫していました。

北杜高校には福祉健康系列もあるため地元の授産施設との連携も盛んで、この日も5つの施設が販売ブースを出していました。学校と地域が連携して創りあげるイベントになっていると感じました。



子育て支援リーダー実力アップ講座

地域の子育てネットワークづくりを進め、子育てに関する情報の提供や相談に対応し、様々な活動をコーディネートする子育てリーダーのため、「子育て支援リーダー実力アップ講座」が山梨県立大学を会場に6月から10月まで、10日間開かれました。この講座は、同大の人間形成学科との協働により、相談業務、特別支援教育など県内外の著名な講師を招聘し、多様な支援に対応した最新の理論やスキルが学べます。また、グループ自主研究により、支援者同士のネットワークや情報交換ができるなど充実した講座になっています。今年度は、保育・幼稚園、放課



後子ども教室、児童館、サポートセンター等の勤務の方など県内各地から35名ほどの参加で開かれました。

最終日の10月27日は、グループ研究の発表会がありました。どの発表もパワーポイントを用いた質の高い内容でした。その後、閉講式が開かれ、県社会教育課・岩下清彦課長より修了証が授与されました。講評では県立大・池田政子顧問より、「この研修を通して生まれたネットワークを大切にこれからの活動に生かしてほしい」、同大・高野牧子教授より、「講座を通して培った素晴らしい実力を地域で生かしてほしい」と励ましの言葉がありました。

山梨ことぶき勸学院 勸学院祭

10月20日(金)、コラニー文化ホールに於いて第31回勸学院祭が行われました。甲府、中北をはじめ、峡南、峡東、北都留、南都留の各教室と卒業生の発表がありました。この発表に向けて勸学院生は夏頃から準備を始め、何回も練習を重ねてきました。ステージで披露するのはとても緊張するものですが、その緊張感と発表を終

えた後の達成感は、非常に貴重なものだと思います。終了後の勸学院生には、笑顔があふれていました。

(発表内容 甲府教室2年:合唱「日本の歌メドレー」「365日の紙飛行機」、1年:合唱「三つのわらべ歌」「花は咲く」、中北教室2年:合唱踊り「高校3年生」「ふるさとは今もかわらず」、1年:踊り「縁故節」「スクラム」)

また、異世代交流として身延山高専手話部による活動紹介や手話のレクチャーがあり、最後に手話歌を会場全員で合唱しました。



甲府教室 2年



甲府教室 1年



中北教室 2年



中北教室 1年

平成29年度 『中北.com』 No.4 編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援担当(柴 矢崎)

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

中北教育事務所のHPからも、ご覧になれます。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>